

第4章 地球環境の保全

1 地球温暖化対策

① 地球温暖化とは

大気中には、二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」と呼ばれる気体があります。太陽から地表に届いたエネルギーは地表を暖め、その熱は赤外線という形で放射されますが、温室効果ガスにはその赤外線を吸収するという働きがあります。吸収された熱は再び地表に向かって放射され、地表を暖めます。これが「温室効果」です。温室効果がないと地球の平均気温は -19°C になってしまいます。温室効果があることで、地上は現在のような生態系が保たれています。

ところが化石燃料の使用等の人類の活動により温室効果ガスの排出量が増え、大気中の濃度が高まった結果、地表付近の気温が上昇しています。これが地球温暖化と言われる現象です。

世界の年平均気温は100年あたり 0.68°C の割合で、日本における年平均気温は100年あたり 1.15°C の割合で上昇し、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています。このように、気候、生態系、都市環境、人の健康など幅広い分野において、既に地球温暖化が原因と思われる影響が顕在化しています。また、今後地球温暖化が進行すれば、影響の範囲や強度が増大することが予測されています。

② 国際的な動き

この地球温暖化は1980年代から問題視されるようになり、平成4(1992)年に「環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット)」において、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「気候変動に関する国際連合枠組条約(国連気候変動枠組条約)」を採択し、地球温暖化対策に世界全体で取り組んでいくことに合意しました。同条約に基づき、平成7(1995)年から毎年、気候変動枠組条約締約国会議(COP)が開催されています。

平成9(1997)年の気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)では、先進国の拘束力のある削減目標(平成20(2008)年から平成24(2012)年の5年間で、平成2(1990)年に比べて日本 -6% 、米国 -7% 、EU -8% 等)を明確に規定した「京都議定書」が合意され、世界全体での温室効果ガス排出削減の大きな一歩を踏み出しました。

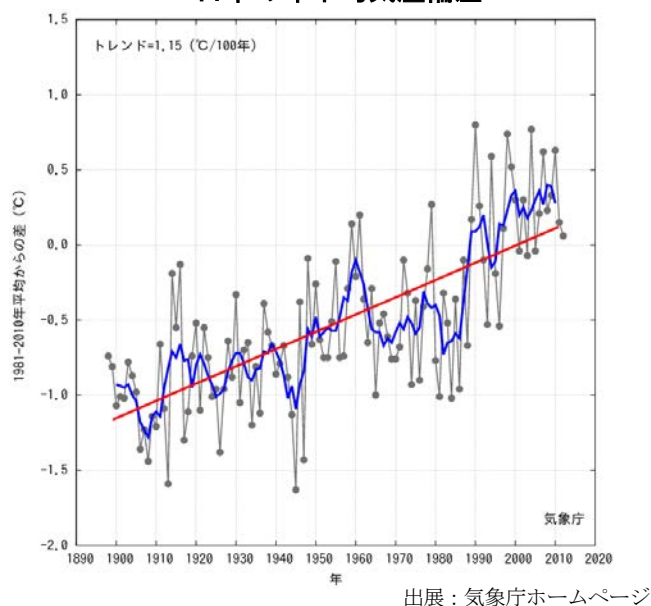
そして「京都議定書」の第一約束期間終了後は、平成23(2011)年の気候変動枠組条約第17回締約国会議(COP17)において、将来の枠組みへの道筋、京都議定書第二約束期間に向けた合意などの一連の合意がなされました(ダーバン合意)。

平成24(2012)年は、カタール・ドーハにおいて、気候変動枠組条約第18回締約国会議(COP18)が行われ、二国間オフセット・クレジット制度等の検討実施や、ダーバン合意を着実に前に進めるというCOP決定がなされました。

③ 地球温暖化対策の総合的な推進

近年の日本の取組みとしては、温室効果ガス排出量を平成32(2020)年までに平成2(1990)年比で25%削減するための「チャレンジ25キャンペーン」を展開しています。オフィスや家庭などにお

日本の年平均気温偏差

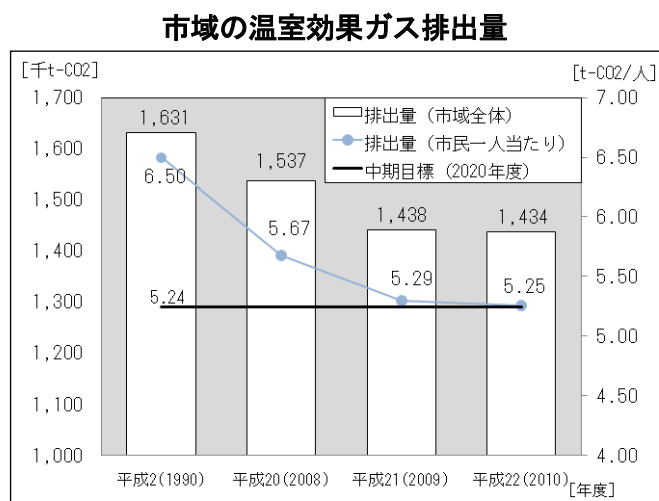


いて実践できる、二酸化炭素削減に向けた具体的な行動を「6つのチャレンジ」として提案し、その実践を広くよびかけています。また、「京都議定書」の第一約束期間終了後は、中長期的な低炭素社会の構築に向けて対策・施策を総合的・計画的に進めるための「中長期ロードマップ」を取りまとめました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所の事故をうけ、原子力発電への依存度を平成22(2010)年には5割とするとした、エネルギー基本計画（平成22(2010)年6月閣議決定）を白紙で見直すべき状況となりました。そこで、省エネルギー・再生可能エネルギーといった、グリーンエネルギーを最大限に引き上げることで、原発依存度を減らし、化石燃料依存度を抑制することを基本方針とする「革新的エネルギー・環境戦略」を平成24(2012)年9月に策定しました。

本市では、市域の温室効果ガス排出量の削減目標を定めた「茨木市地球温暖化対策実行計画」を策定し、推進しています。

2 茨木市地球温暖化対策実行計画の進捗状況

茨木市地球温暖化対策実行計画では市民一人あたりの排出量について削減目標を掲げ取組を推進しています。現在集計が完了している最新の数値として、平成22(2010)年度は、市民一人当たりの排出量が5.25(t-CO₂)と平成2(1990)年度から19.2%削減しました。これは、家庭部門での排出量は増加しましたが、電気（関西電力株式会社）の二酸化炭素排出係数が減少したことにより、産業部門及び民生業務部門で大幅に排出量が減少したため、大幅な削減に繋がりました。平成24(2012)年度の取組状況等は、30・31ページをご参照ください。



電気の二酸化炭素排出係数（関西電力株式会社）

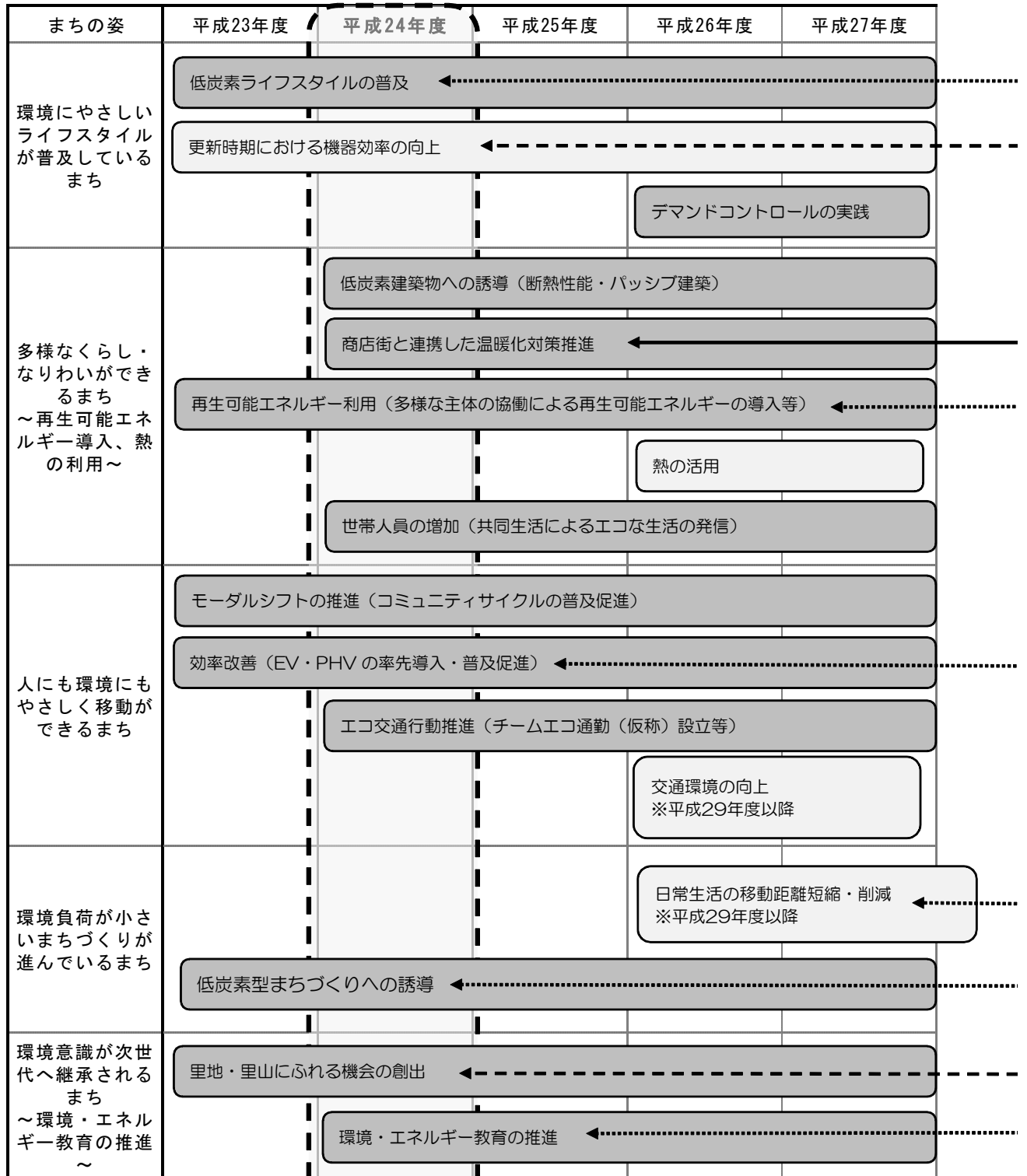
	20年度	21年度	22年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.355	0.294	0.311

3 茨木市地域エネルギービジョンの進捗状況

「茨木市地域エネルギービジョン」では、計画の推進に関し、重点プロジェクトの取り組み状況について情報提供することとしています。また進捗管理については、「茨木市地球温暖化対策実行計画」とともに行うものとしています。

- ① プロジェクト1 新エネルギー導入スタイルの発信
 - ・実績については30・31ページの「更新時期における機器効率の向上」をご参照ください。
- ② プロジェクト2 多様な主体の協働による新エネルギーの導入
 - ・実績については30・31ページの「更新時期における機器効率の向上」及び「再生可能エネルギー利用（多様な主体の協働による再生可能エネルギーの導入等）」をご参照ください。
- ③ プロジェクト3 低炭素ライフスタイルの普及
 - ・実績については30・31ページの「低炭素ライフスタイルの普及」をご参照ください。
- ④ プロジェクト4 コミュニティサイクル事業の普及促進
- ⑤ プロジェクト5 EV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリッド自動車）の普及促進
 - ・実績については30・31ページの「効率改善（EV・PHV の率先導入・普及促進）」をご参照ください。
- ⑥ プロジェクト6 マイカー通勤の抑制

本市で展開する温暖化対策の取組期間と実績



※濃い色は当面重点的に取り組むもの

○エネルギーモニター活用及び普及

・省エネナビモニター事業【継続】 (実績) 6件

○低炭素ライフスタイルの普及

・環境フェアの開催【継続】 (実績) テーマ『“省エネ”と“創エネ”で「心も体も快適生活」』 参加者数：5,300人

・環境市民講座の開催【継続】 (実績) 平成25年2月9日開催、参加者数：29人

・緑のカーテンの推進【継続】 (実績) 市民モニター：市民55名、3事業所

学校等：幼稚園12園、小学校30校、中学校12校、学童保育11か所、保育所11か所

○エコオフィスプランいばらきの実践

・エコオフィスプランいばらきの実践【継続】 (実績) 温室効果ガス排出量-4.2%、エネルギー使用量+14.4% (19年度比)

○集団回収、古紙類など資源物の分別・再資源化

・再生資源集団回収報奨金事業【継続】 (実績) 回収団体数：404団体、回収量：10,652 t

○ごみ減量意識の啓発、事業所への訪問指導

・生ごみ処理容器等設置補助事業【継続】 (実績) 電気式：36基、電気を必要としないもの：16基

・廃棄物減量等推進員活動の推進【継続】 (実績) 3R推進月間の街頭啓発キャンペーン (10月7日参加人数 95人)

環境衛生センター見学会 (10月20日参加人数 27人)

廃棄物減量等推進員研修会 (10月21日参加人数 101人)

・出前講座の実施【継続】 (実績)

小学校：7校、参加人数：554人

団体：3校、参加人数：58人

・事業所訪問、啓発冊子・副読本の発行【継続】 (実績) 訪問事業所数：131

啓発リーフレット：3,100部

○買い換え時における高効率機器の購入

・公共施設へのLED照明の導入【新規】 (実績) 老人福祉センター：6施設 (総床面積の約10%を交換)

・高効率給湯器等設備導入補助事業【新規】 (実績) 316件 (年間二酸化炭素削減量：約196 t)

・省エネ・省CO₂設備導入補助事業【新規】 (実績) 8件 (年間二酸化炭素削減量：約90 t)

○環境配慮企業、店舗の積極的なPR

・ISOなどの資格取得店舗等を産業情報サイトへの掲載【継続】

・エコショップ制度の推進及び登録店舗の市HPへの掲載【継続】 (実績) 39店舗 (平成25年3月末)

○再生可能エネルギーの導入

・公共施設への太陽光発電システム設置事業【新規】 (実績) 設置事業者決定 (1件：559.09kW)

・住宅用太陽光発電システム設置補助事業【継続】 (実績) 407件、1639.2kW

○EV・PHV等の普及・検討

・EVの普及【新規】 (実績) いばらき環境フェアにおいてEVの展示・試乗会を実施、EVに関するHPの作成

・公用車への低燃費自動車の導入【継続】 (実績) 軽自動車8台、市長車1台導入

○中心市街地のにぎわいづくり

・中心市街地活性化支援補助事業 (実績) 1件

○地産地消の実践

(実績) 茨木市農業者支援事業【継続】 (実績) 4件

ふるさと食材供給事業【継続】 (実績) 1件

朝市・青空市及び直売所のPR【継続】 (実績) 市HPに掲載、市広報誌：11件

○駐車場の電灯や街路灯へのLED導入・普及

・LED電球の導入【新規】

(実績) 街路灯 新規：161灯 交換：100灯

(平成34年度までに市内全ての街路灯をLED照明に交換予定)

駐車場：12駐車場、1,699灯

公園：37灯

○市内の里地・里山における環境学習活動の実践

・市民参加型森林保全事業 (森林の保全と活用を図る市民ボランティアの育成を図る) (実績) 18人 (市民ボランティア)

○「いばらき環境家計画」の実践・普及

・環境家計画の作成・配付【継続】

(実績) 1,000冊作成、245人に説明し配付

・環境教育ボランティアによる講座等の開催

(実績) 102人を派遣